

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原料料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用 留意	感染症(HT)	出典	概要
												E型肝炎	肝臓 2007: 48(Suppl.1): O-178	発症前からのウイルス血症の推移、肝炎発症から沈静化までの経過を報告した輸血後E型肝炎2例の症例報告である。1例は輸血21日目にHEV RNA (genotype 4)が検出され、44日目にピーク値を、もう1例は輸血後3日目にHEV RNA (genotype 3)が同定され、54日目にピーク値を示した。HEVウイルス血症は潜伏期間を経て発現し、対数増殖後約50日前後にピークを示し、その直後にAST、ALT上昇と血中抗HEV抗体の出現を順に認めた。
769	2007/11/30	70769	大塚製薬	インターフェロン ガンマ-n1	人血清アルブミン	ヒト血液	アメリカ	添加物	有	無	無	チクングニヤウイルス感染	Eurosurveillance weekly releases 2007: 12(9): E070906.1	2007年8月、イタリアEmilia-Romagna州Ravenna県の保健局は同県内の2つの村で、熱性疾患患者が異常発生したことを認識し、血清学的検査およびPCRにより、チクングニヤウイルス感染であることを確定した。
770	2007/11/30	70770	大塚製薬	インターフェロン ガンマ-n1	ハムスター(ヒトミエロモノサイト細胞を皮下で増殖)	ハムスター	日本	製造工程	無	無	無			
771	2007/11/30	70771	大塚製薬	インターフェロン ガンマ-n1	抗IFN-γモノクローナル抗体	マウスハイブリドーマ	イギリス	製造工程	無	無	無			
772	2007/11/30	70772	大塚製薬	インターフェロン ガンマ-n1	抗ハムスター胸腺細胞ウサギ抗血清	ウサギ血液	アメリカ	製造工程	無	無	無			
773	2007/11/30	70773	大塚製薬	インターフェロン ガンマ-n1	インターフェロン ガンマ-n1	ヒトミエロモノサイト細胞株	アメリカ	有効成分	無	無	無			
774	2007/11/30	70774	大塚製薬	インターフェロン ガンマ-n1	ウシ胎仔血清	ウシ血液	アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			